

『高月の自然から見えるもの』

～知らなかった生き物と環境との関わり、人々の暮らしとの関わり～

草花・昆虫(ホタル)・樹木(地域の大樹)、米作り、野鳥などの校区内の身近な自然・素材にスポットをあて、観察や調査など体験的な活動を継続し、地域のよさを再発見。生き物と環境の関わり、人々の暮らしとの関わりを再認識。啓発活動・学習成果の発信にチャレンジ！

1 はじめに

本校は、豊かな自然環境に恵まれた地域である。しかし、子どもたちがその環境に自由に浸ることは、安全性の問題や遊び文化、生活様式の変化等により少なくなってきた。また、教育課程に位置づけた環境領域の学習を進めてきているが、限られた学習時間の中で地域へ出かけることの困難さや校地内で地域の環境について学習することには限界がある。

しかし、地域の人たちも子どもたちも気づいていない自然があり、このような自然についてもっと平易な形で知ることができるのではないか。また、その中から環境と人々の暮らしや生き物との関わりなどが見えてくるものと考え。

そこで、子どもたちの足下から高月の自然を見つめ直しそこから見えてくるものを追究させたい。

2 実践事例

(1) 4年「私たちの高月の大きな木」

ア ねらい

校区には自慢の大木(ご神木など)があり、調査活動を通して地域の人たちが温かく見守っていることを知り、郷土を愛する心を育むと同時に環境を大切にすることを養う。



イ 学習内容

・やまの子
学習、校庭の
樹木観察から
地域の大樹・
「野神さん」
へ

- ・地域の大樹・「野神さん」の見学、聞き取り調査活動
- ・「野神さん」を守る人々の思い、自分にできることを発信

ウ 見学と聞き取り調査

高月神社の夫婦杉、八幡神社の野大神、渡岸寺の野大神、柏原の佐味神社の三本杉の4つのご神木を見学し、地域の方から説明やご神木に対する思いを伺う。



〔地域の方から「野神さん」の説明を聞く〕

(2) 4年ゴーヤ栽培

理科学習と関連させ、ゴーヤによる「緑のカーテン」をランチルームの外に作り、栽培・観察を行った。これによりランチルームの省エネルギーを推進した。水やり等の世話が大変であったが、順調に育ち、かなり効果があがった。



(3) 5年「自然に学ぼう！田んぼの中の世界」
ア ねらい

田植え・中干し・稲刈り・脱穀等の昔ながらの体験的な活動を通して米作りの苦勞・工夫を知るとともに、稲の生長や水田の植物・生物を継続的に観察し、植物・生物の多様なつながりを多面的、総合的に考えることができる。

イ 学習内容



・田植え体験と水田で発見したオケラを出発点に学習課題の決定
・中干し・稲刈り・脱穀等の体験

と水田の植物・生き物調査を継続

・調査活動、斑点米の問題から米作りと環境（農業）について考察
ウ 米作りと環境

米作りが、身近な多様な生き物、自然環境と密接に関わり合っていることに気づき、環境にやさしい米作りが行われていることに気づかせ、「環境こだわり農産物」にふれながら、琵琶湖と自然環境との関係にも目を向けさせることができた。



エ 地域ボランティアの支援
一年間を通じて、夢を語る会（地域ボランティア）やJA職員の指導による米作り体験ができた。単なる技術指導にとどまらず、植物や生き物との関わりや米作りにかかる思いなど多面的、総合的に学ぶ機会となった。

(4) 全校での取組

ア けやきっこ活動



滋賀環境美化の日（5月、7月、12月）に合わせて、全校で学校

の周囲や公共施設の環境美化に取り組んだ。12月の県下一斉清掃の日に合わせて活動では、全校（4色の縦割り班）が近隣にある高月図書館でゴミ拾いや除草などのけやきっこ活動を実施。

イ 資源回収の実践

春と秋の2回、各自治会毎に親子で資源回収を実施。高月小PTAと児童会が一体となっ



て資源回収に取り組み、雑誌・新聞・アルミ缶のリサイクル活動を推進している。また、資源回収の日とは別に、学習参観のある週を中心に年間9回程度「アルミ缶回収週間」を設け、アルミ缶のリサイクル活動も継続している。

3 成果と課題

本校は、平成24年度から「しが環境リーディング事業」の指定を受け、全学年を通して環境学習を進めている。

子どもたちは、校区内の身近な自然・素材に注目し、観察や調査など体験的な活動を継続する中で、地域のよさを再発見したり、地域の方から多くのことを学んだりすることができた。また、生き物と環境の関わりや人々の暮らしとの関わりについても考えることができるようになってきている。

しかし、そこで自分たちが学んだことをどのように発信し、校内だけに止まらず、保護者や地域の方にどのように啓発していけばよいかをさらに検討していく必要がある。

校名	長浜市立高月小学校
住所	長浜市高月町高月738
電話番号	0749-85-2002
E-mail	tukisyou@t-t-s.sakura.ne.jp